

# おおま

No. 97  
岬の光

平成30年5月1日発行

議会だより



## 春告げ鳥(ウミネコ)の乱舞と弁天神社

※御神体については最終ページへ

### 3月定例議会 主な内容

- 平成30年 第1回定例会 P 2～4
- 一般会計補正予算／下北広域組合一般会計予算 P 5
- 2議員が一般質問 P 6～7
- 視察研修報告 P 8
- 庁舎建設状況 P 9
- 報告(御神体について)・編集後記 P 10

平成30年度  
当初予算

# 一般会計予算 51億5,187万7千円

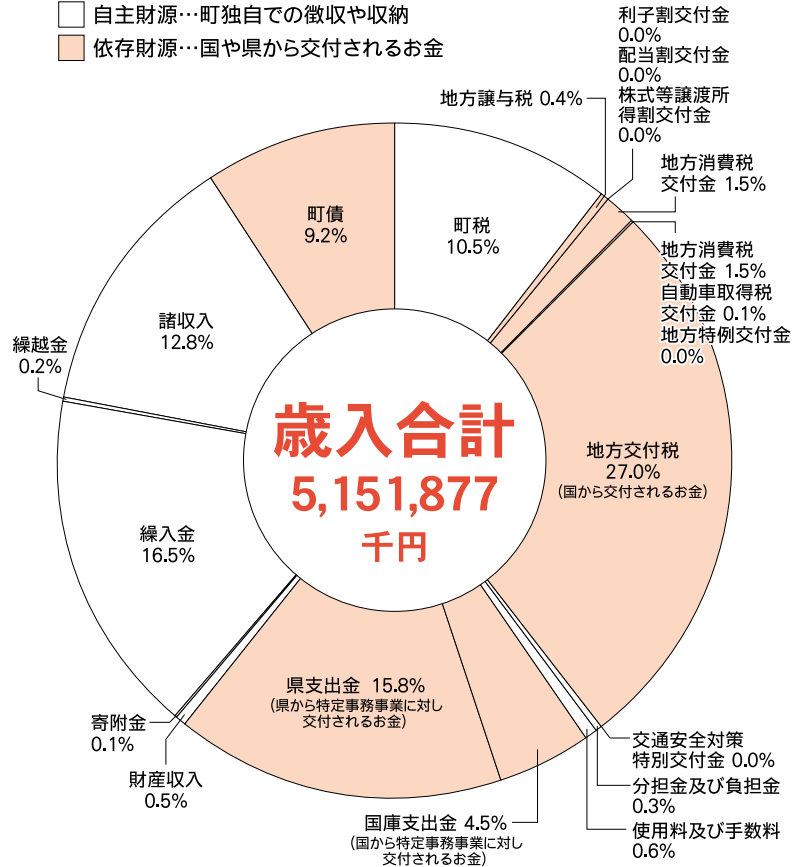
前年度比 7億5,557万2千円 17.2%の増

## ◆歳入

(単位：千円、%)

科 目	予算額	比率
町 税	542,845	10.5
地 方 譲 与 税	21,693	0.4
利 子 割 交 付 金	772	0.0
配 当 割 交 付 金	831	0.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	84	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	74,227	1.5
自 動 車 取 得 税 交 付 金	4,260	0.1
地 方 特 例 交 付 金	1,115	0.0
地 方 交 付 税	1,390,042	27.0
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	16,910	0.3
使 用 料 及 び 手 数 料	30,273	0.6
国 庫 支 出 金	233,346	4.5
県 支 出 金	814,541	15.8
財 産 収 入	26,896	0.5
寄 附 金	3,925	0.1
繰 入 金	847,832	16.5
繰 越 金	10,000	0.2
諸 収 入	659,658	12.8
町 債	472,626	9.2
歳 入 合 計	5,151,877	100.0

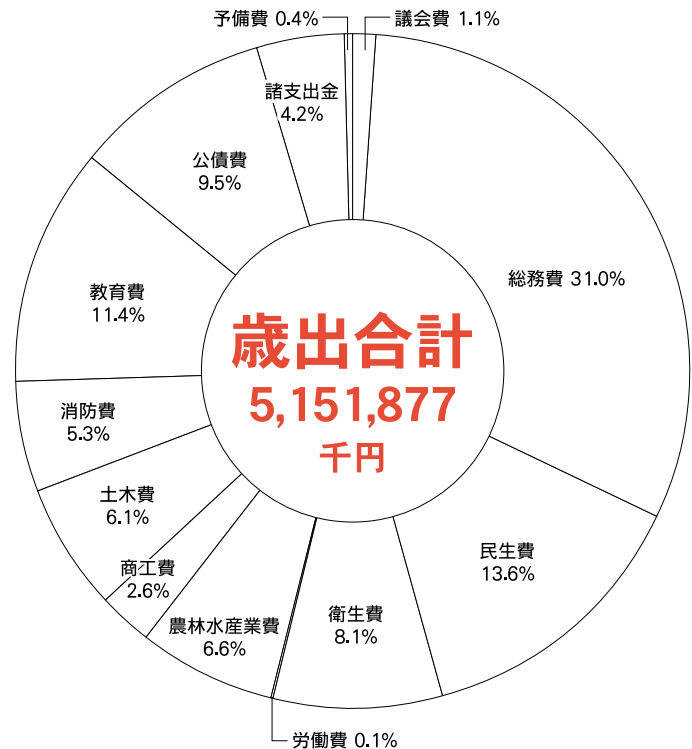
□ 自主財源…町独自の徴収や収納  
■ 依存財源…国や県から交付されるお金



## ◆歳出

(単位：千円、%)

科 目	予算額	比率
議 会 費	55,350	1.1
総 務 費	1,596,469	31.0
民 生 費	700,228	13.6
衛 生 費	419,693	8.1
労 働 費	2,546	0.1
農 林 水 産 業 費	342,078	6.6
商 工 費	133,383	2.6
土 木 費	313,942	6.1
消 防 費	274,475	5.3
教 育 費	585,948	11.4
公 債 費	491,552	9.5
諸 支 出 金	216,213	4.2
予 備 費	20,000	0.4
歳 出 合 計	5,151,877	100.0



# 第1回 3月定例会

平成30年3月8日開会し、3月16日閉会しました。  
本会議に提案された議案14件、同意1件はすべて原案どおり可決、同意しました。



建設中の役場庁舎

## 平成30年度 当初予算

### 一般会計

歳入歳出とも51億5187万円となり、前年度比7億5557万円、17・2%の増となる。

### 歳出の主なるもの

#### 総務費

○庁舎リース料5820万円。

- 防災行政用無線工事費2億2200万円。
- 役場庁舎建設基金積立金4億9200万円。
- 庁用器具費8291万円。
- 公共用施設維持運営基金積立金9312万円。
- 水産振興基金積立金3667万円。

### 企画費

- 大函丸購入費4614万円。
- 下広負担金6432万円。
- 原発視察研修等旅費1450万円。
- 新庁舎移設作業委託料1481万円。

### 民生費

- 下広負担金1486万円。
- 後期高齢者医療療養給付費負担金4654万円。
- 社会福祉協議会補助金3175万円。
- 障害福祉サービス費等給付費1億321万円。
- 国保特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計繰出金合わせて1億9206万円。
- 大間保育園運営費及び児童手当合わせて1億4181万円。
- うみの子保育園指定管理料6044万円。

### 衛生費

- 子ども医療費取扱委託料1440万円。
- 下広センター負担金1532万円。
- 予防接種、各種検診委託料合わせて1624万円。
- 環境衛生費で下広負担金7452万円。
- 一般廃棄物収集運搬及び施設等業務委託料3402万円。



クリーンセンター

- 清掃総務費で下広負担金1億281万円。
- 上水道整備費で水道事業会計負担金5386万円。

### 農林水産業費

- 畜産資料展示施設改修工事費1775万円。



畜産資料館

- 繁殖育成センター管理業務委託料1119万円。
- トラック購入費1307万円。
- 水産振興事業費補助金1880万円。
- 材木漁港防波堤改良工事費3500万円。
- 港整備事業負担金2500万円。
- 種苗育成センター費1619万円。



## 商 工 費

○小規模経営改善普及及び商工振興事業補助金1545万円。



大間町商工会

- ブルーマリンフェスティバル企画運営委託料1512万円。
- 融資対策事業貸付金1300万円。
- 海峡保養センター、養老センター指定管理料1000万円。
- 温泉大広間床置形エアコン等購入費1294万円。

## 土 木 費

○橋梁補修設計業務委託料1300万円。

○大間内山線道路改良工事費6070万円。



大間内山線道路改良工事

○港湾改修事業負担金2425万円。

○下水道事業特別会計繰出金1億3262万円。

## 消 防 費

○下広負担金2億5130万円。

○消防団事務委託料1921万円。



## 教 育 費

○奥戸小学校増築工事費3億510万円。



奥戸小学校増築完成予想図

○教職員用パソコン購入費1296万円。

## 公 債 費

○元金4億5648万円、利子3506万円の当該年度支払見込額を計上。

## 諸 支 出 金

○大間病院会計負担金2億1321万円。

○予備費に2000万円を計上。

## 国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ9億338万円であり、前年度比1億7917万円、16・6%の減となる。

## 後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ4671万円であり、前年度比11万円、0.2%の減となる。

## 介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ6億5217万円であり、前年度比120万円、0.2%の増となる。

## 下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ2億5340万円となり、前年度比750万円、3・05%の増となる。

## 水道事業会計

○収益的収入及び支出  
・収入で1億9737万円、営業収益で1億2443万円、営業外収益で7294万円。

・支出では1億5879万円、営業費用で1億3268万円、営業外費用で2111万円。

○資本的収入及び支出  
・収入で1121万円、負担金で計上。

・支出で建設改良費で4113万円、企業債償還金で6087万円、合計1億701万円。

・資本的収入が資本的支出に対し不足する額9579万円は内部留保資金等で補填する。

○議会の議決が必要な経費は職員給与2261万円、たな卸資産購入限度額1300万円とした。

平成29年度  
補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ2億2927万円を減額し、予算総額43億6510万円とした。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ7283万円を減額し、予算総額10億6495万円とした。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ41万円を減額し、予算総額4641万円とした。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ407万円を減額し、予算総額2億5060万円とした。

陳情

○米の生産費を償う価格下支え制度を求める陳情

採択

○種子法廃止に伴う完全の対策を求める陳情

付託

産業民生常任委員会

○地域別最低賃金の引き上げと全国一律最低賃金制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情

採択

○日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し国会が批准することを求める陳情  
総務教育常任委員会  
付託

○障害者の暮らしの場の充実を求める陳情  
産業民生常任委員会  
付託

再任

固定資産  
評価審査委員

竹内 力氏  
大間字狼丁21番地  
昭和10年10月20日生

中嶋 正学氏  
奥戸字二ツ石102番地2  
昭和36年4月3日生

※両氏共に全議員の賛成をもって再任

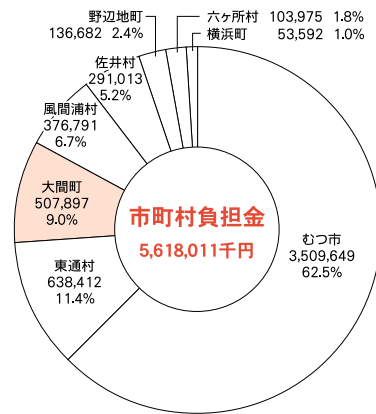
平成30年度実施予定の主要事業一覧

(単位：千円)

事業名	区分	事業費	財 源 内 訳				備 考	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
下北文化会館施設改修事業		59,317					59,317	下北文化会館
ごみ処理施設整備事業		40,620	13,054		6,100		21,466	廃棄物施設課
大湊庁舎建設事業		172,785	79,395				93,390	大湊消防署
脇野沢分署高規格救急自動車等購入事業		51,243					51,243	脇野沢消防分署
風間浦分署高規格救急自動車等購入事業		51,129					51,129	風間浦消防分署
合 計		375,094	92,449		6,100		276,545	

※1件 1,000千円以上の工事請負費及び備品購入費等

市町村負担金明細



平成30年度  
下北地域広域行政事務組合一般会計予算

平成30年度市町村負担金明細

(単位：千円、%)

	議会費	総務費	文化会館費	民生費	衛生費	消防費	公債費	合 計	構成比 (%)
む つ 市	1,359	57,011	146,989	45,503	1,269,160	1,661,618	328,009	3,509,649	62.5
大 間 町	272	9,752	—	8,115	155,617	287,193	46,948	507,897	9.0
東 通 村	272	10,937	—	8,164	167,319	404,533	47,187	638,412	11.4
風 間 浦 村	272	6,941	—	5,495	73,862	263,983	26,238	376,791	6.7
佐 井 村	272	7,099	—	4,089	77,676	175,649	26,228	291,013	5.2
野 辺 地 町	136	5,652	—	—	94,264	—	36,630	136,682	2.4
横 浜 町	136	2,768	—	—	35,490	—	15,198	53,592	1.0
六 ヶ 所 村	136	4,698	—	—	70,981	—	28,160	103,975	1.8
合 計	2,855	104,858	146,989	71,366	1,944,369	2,792,976	554,598	5,618,011	100.0



岩泉 盛利 議員

# 町民の長寿 健康増進への 取り組みは?

大間町では平成27年3月7日、5つのテーマをスローガンに、個人、家族、職場が連携して、健康づくりの輪を広げ一人一人が元気で心豊かな人生を過ごすよう、生涯健康づくり宣言が行われた。全国一短命県の汚名を返上するため、県、及び、他市町村でも短命返上・人口対策・健康増進につながる事業を展開しておりますが、我が町の長寿健康増進への対策、今後の取り組みをお聞きしたい。

**町長答弁**

健康づくり宣言を契機に、精力的に活動を展開してきました。保健協力会、食生活改善推進委員、町内会の協力を得ながら、病気の早期発見、早期治療につながる健康診断受診率の向上に努めております。又、漁協の各種会合では保健師の健康講座、児童の肥満対策では、学校での出前講座を開催しながら子供たちの健康管理、生活習慣の適正化に努力してまいりました。

特定検診及び、がん検診の無料化、漁師の皆さんの受診時期の見直し、検診日を土日に設定、又、浜町町内会をモデル地区として、すこやか力アップ作戦事業を進めた結果、モデル地区の特定検診率は2倍に増えております。この結果を参考にモデル地区を増やしながら事業を進めたい。

から事業を進めたい。他に、専門家を招き、月4回の運動教室、年1回のウォーキング大会など、回数を重ねるごとに参加者が増えておりますし、産業祭を利用してのミニ健康まつりの開催等、健康増進のための情報提供の充実、介護予防の実施、地域の健康増進に努めてまいりたい。

**再質問**

健康づくりや健診事業の増大を進めるためには、スタッフの充実が必要不可欠だが、現状の保健師4名では住民サービスに無理がある。看護師を含め保健師の採用を考えるべきでは。

**町長答弁**

現在、4名の保健師が健康づくりのため一生懸命頑張っており、その仕事の成果が顕著に表れております。スタッフ増に関しては、健康事

**再質問**

健康で長寿を全うするには食もそうだが、普段からの運動が大事だ。むつ市にあるウエルネスパークでは入会金無料、月々4、500円で時間制限なしで全施設の利用が出来る健康スポーツ施設がある。町でも本格的な器具はいらないので、子どもから高齢者まで体力作りを楽しむような器具を北通り総合文化センターウイングの施設内に設置できないか。

**町長答弁**

ウイング建設の際、住民から色々な提案を戴き、室内運動場・室内プールの要望が強く今の施設になっている。只、トレーニング器具については、健康状態

**再質問**

住民の健康増進に必要との声がある。今現在あるウイングの施設の一部を利用して簡単な器具を設置して戴けないか。公益財団法人の運営だから難しいと思うが、建設から20年経つが進歩が見られない。北通り3ヶ町村住民の健康を思うときもつと真剣に考えて戴きたい。

**町長答弁**

健康づくりは非常に大事なことです。施設、運動を含めた町民がすぐ参加できる良い方法を考え、財団と検討及び、要望はしていきたい。

(記)岩泉

# 一般質問



野崎 信行 議員

**問十二** 小奥戸から二ツ石まで農道整備をしてもらいたい。

**町長答弁**

これ以上の整備の計画はございません。

**問十四**

職員採用について、大間町役場では学芸員の免許を持った人がいない。むつ市と東通村では採用している。大間町も職員を採用した方がよい。

**町長答弁**

必要とする学芸員については、現在考えておりません。

**問十六**

「空き家解消補助金」について、中古住宅を購入する際の、リフォーム工事の費用1件当たり最大50万円を補助する。啓蒙し活用を推進すべきである。

**町長答弁**

進めてまいりたい。

**問十七**

「地域おこし協力隊」について、佐井村では

5人が活躍している。大間町も活用すべきである。

**町長答弁**

進めてまいりたい。

**問十八**

「弱者避難計画」策定について、大間町は作成していない。大規模災害時・高齢者・障害者の避難は大丈夫か。早急に作成すべきである。

**町長答弁**

関係機関と協議を進めてまいります。

**問十九**

「第三子以上」少子化対策補助金について、田舎館村では第三子以上に「祝い金」一人20万円を支給している。大間町も少子化対策とし、すべきである。

**町長答弁**

検討してまいりたい。

**問二十**

放課後子供教室について、水曜日、土曜日はやっているが、月曜日から土曜日までできないのか。

**町長答弁**

検討課題とさせていただけだと思います。

**問二十一**

「保育園」無償化について、大間町に小型風力発電が20基できる。一基350万円収入がある。活用し保育園を無償にすべきである。

**町長答弁**

検討してまいりたい。

**問二十三**

「べこもちサミット」開催について、べこもちの元祖は大間町奥戸地区である。最初の地、奥戸でサミットを開催すべきである。

**町長答弁**

検討してまいりたい。

**問二十四**

「奥戸向町裏の道路」舗装について、道路が凸凹である。地区住民のため舗装すべきである。

**町長答弁**

実施する計画を立てております。

**問二十五**

「奥戸朝日町」防災無線について、まった

く聞こえない状況にある。非常に不安な住民のため新規で設置すべきである。

**町長答弁**

現在より改善されるものと認識しております。

**問二十六**

農用地利用計画解除について、未だに農表振興計画の色分けが出来ていない。いつ出来るのか。

**町長答弁**

年内には手続きが完了する予定です。

**問二十七**

「むつFMラジオ」誘致について、大間町はNHK、RABなど、ラジオ放送が入らない。アンテナを設置し、むつFMが入るようにすべきである。

**町長答弁**

できないというふう

に認識しています。

30の質問の中から17

を掲載いたしました。

(記)野崎

**問八** 「大間町魅力度コンテスト」について、1位、京都、2位、函館、3位、札幌であるが、大間町はないか。

**町長答弁**

所有者不明土地について把握しているのは、約4.7ヘクタールであります。

**問五**

「所有者不明土地」について、全国で720万ヘクタール、北海道の9割の広さがあると言

うが、大間町はどのくらいあるのか。

**町長答弁**

「サーモン養殖」について、大間町も大間町原子力発電港を借りてサーモン養殖をすべきである。

**町長答弁**

これは不可能でございます。

**問十**

焼畑道路整備について、奥戸春日神社から焼畑中間道路整備までしてもらいたい。

**町長答弁**

整備をする計画はございません。



## 震災遺構

# 荒浜小学校視察



平成30年2月12日

仙台市荒浜地区にある荒浜小学校を視察しました。

荒浜地区は、仙台市中心部から東に約10キロメートル離れた太平洋沿岸部に位置しています。周囲に約800世帯、2,200人の人々が暮らす集落がありました。

2011年3月11日

発生した東日本大震災において、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた荒浜小学校。津波による犠牲を再び出さないため、その校舎を震災遺構として公開し、津波の脅威や教訓を後世に伝えています。



止まったままの時計



津波の瞬間



荒浜小学校

# 東海第2発電所視察



2月13日、日本原電東海第2発電所の視察。

概要説明では、東海第2発電所の安全対策と使用済み燃料乾式貯蔵設備について、現場視察では、使用済み燃料プール、使用済み燃料乾式貯蔵建屋、構内外周、質疑応答等を行いました。

日本で一番古い東海発電所がなぜ東日本大震災の被害をまともに受けなかったのか、福島はなぜあのような大事故に繋がったのか、議員全員の関心であり視察の目的でもありました。

防潮堤を一部6メートル嵩上げしたこと、非常用発電機を3台事前に準備して置いたことなどで、被害を最小限度にとどめることが

出来た大きな要因でなかったかなと教わりました。

が人災をどうして防ぐかが大きな課題と、感じました。(記)宮野

天災はやむを得ない





完成まで  
あと

4ヶ月!!



平成30年4月16日現在 2階部分



3月16日 1階部分 (写)岩瀬



3月16日 2階部分 (写)岩瀬

平成30年第1回大間町議会定例会が、3月8日～3月16日迄開催された。最終日の16日、定例会終了後、小雪がちらつく寒い中、行政からは町長、副町長ほか管理職員と、議長以下議員全員により、建設中の新庁舎工事現場を視察して来た。

視察前に考えていたのは、完成前から大きく広く感じるんだろうな、と漠然と思っていたが、そんなに広く感じない。特に議場が狭く感じたのは私だけだろうか？

完成まであと4か月、完成後の姿、及び、そこに身を置き仕事をさせて戴く自分を想像しながら待つのも、夢があって良い。

(記)加藤

# 報告



平成30年4月18日午前8時過ぎ、泉学氏のご厚意で副委員長の佐々木信彦氏と二人で弁天島に表紙の写真を写しに行ってきた。本来なら4月3日に開催される弁天島例大祭が快天であれば弁天島に渡り、海上安全・大漁祈願等のため、お神楽奉納があるのだが、海が荒れ渡航できず、写真を断念した経緯があった。

島全体を占領していたのはウミネコ。

けたたましいほどの鳴き声を上げ営巣の準備に余念がない。頭の上はウミネコの大乱舞だが、とにかく弁天神社を目指し、歩を進める。真っ赤にお色直しをした神社は、表面から見るとバックの灯台の白黒と対比するようで、小さい社だがインパクトが大変強い建物に映った。社の戸を開けて見ると数体の石像が祀られている。大間町史の「弁天島と灯台」の2ページ目に海上安全の弁天信仰とあり、「大奥村誌」によれば「弁天島ノ中央高キ処御殿と称シ、岩石ヲ置テ祠トナシ、正面瀛津島姫尊、左大国主命、右蛭子命ヲ祀ル。祠ノ地中ニ秘石ヲ蔵シ、形鶏卵ニ似テ大キサ尺余、ソノ響キ鐘ノゴトシトイフ。神体ハ

石像ニシテ海中ヨリ出デシトイフ。寄進の鰐口ニ正徳5年(一七一年)8月(中御間天皇)ノ銘アリ。」と書いてある。

では、中央に鎮座している瀛津島姫尊(おきつしまひめのみこと)又は、奥津島比売命、別名、多紀理毘売命(たぎりひめのみこと)とは？

その昔、筑前地方の海人豪族宗像氏(むなかた)らが島全体を神の島と祀っている沖ノ島の「姫神」。

海の神・航海の神である「瀛津島姫尊」が筑前地方から遠く離れた大間の弁天島に何故祀られているのか？

仮説としてだが、大間の漁師たちが弁天島を神の島、「沖ノ島」になぞらえたと考えられないだろうか。その昔、島は神聖な処、上陸するのに身を清めた

とか「女神」だから焼きもちを焼くので、女人禁制と言われてきたことを考えると、当てはまるような気がする。

現に「沖ノ島」は今でも入島禁止、ましてや女人は論外と言われている。難しい話はこのくらいで終わろう。

現在、灯台が建っている処は松林の小高い丘で、その林の中に祠があった(明治生まれの両親の話)と聞いているが、真相は分からない。だが、「祠ノ地中ニ秘石ヲ蔵シ、形鶏卵ニ似テ大キサ尺余、ソノ響キ鐘ノゴトシトイフ」と言う記実の石

だが、確かにある。私も一度だけだが目にし、叩いてその響きを聞いています。高音で透き通ったきれいな音だったと記憶している。

その時の所有者がまだ持っているといいますが、(記)加藤

## 編集後記

厳しい寒さも緩みをまし、ここ大間にも春を感じられる季節となりました。

卒業生、新入生、新社会人の皆様おめでとうございます。環境が変わる中、新しい生活に慣れる事は大変だと思いますが、頑張ってください。

さて、今年もウニ籠漁がはじまって浜は賑わっておりますが、事故には十分気をつけて操業して頂きたいものです。

(記)佐々木

### 議会広報編集委員

委員長

加藤 正喜

副委員長

佐々木 信彦

委員

竹内 勝雄

千代谷 誠

竹内 弘

宮野 昭一